

ロードセル・トランスファー・スタンダード

ロードセル専用 mV/V発生器 1/10000の高精度



AD-4376は、アナログロードセル専用のmV/V発生器(ロードセルシミュレータ)です。 1/10000の高精度なので、ロードセルやウェイングインジケータの性能確認や、 キャリブレーションデータの保存などに使用できます。

現場の操作性に合わせた設計

ハンディタイプのmV/V発生器です。小型で電池駆動なので、現場で手軽にロードセルやウェイングインジケータなどのチェックができます。連続運転で20時間以上の動作が可能です。

標準器として設備してください

高精度・高安定度の1/10000を保証していますので、工場内のスタンダードロードセル、標準mV/V発生器として1台設備していただくと便利です。

入力電圧	0~18V
出力電圧	0.0000mV/V~3.9999mV/V
確度	0.01% of セット値 ±0.0002mV/V (23℃±5℃)
設定範囲	$0.0000 \mathrm{mV/V} \sim 3.9999 \mathrm{mV/V}$
	設定ダイアル4桁+ ^{4/} 10桁
電源	内蔵バッテリ 006P 9V×4 LOW BATT INDICATOR 有り
入力インピーダンス	約 390Ω
出力インピーダンス	約 350Ω
動作時間	マンガン乾電池にて連続20時間以上
外形寸法	300(W)×125(H)×80(D)mm

取り扱い方法

- ①ロードセルおよびウェイングインジケータを設置し、分銅を使用して、 はかりのキャリブレーションを行います。
- ②ロードセルのケーブルとウェイングインジケータを切り離します。
- ③本器をウェイングインジケータに接続します。
- ④本器のダイアルでウェイングインジケータの表示が0になるように 調整します。
- ⑤ 0 になった時のダイアル値が、ロードセルの初期荷重状態の出力値です。この値を記録しておきます。
- ⑥次に、ウェイングインジケータの表示がそのはかりのひょう量の値になるように、本器のダイアルを合わせます。
 - 例) 1tのはかりの場合、ウェイングインジケータの表示を1.000tに 合わせます。
- ⑦その時のダイアル値が、ひょう量荷重時のロードセルの出力値です。 この値も記録しておきます。ウェイングインジケータを交換する際に、 上記で記録しておいた値でキャリブレーションを行えば、分銅を使用 しなくてもキャリブレーションを行うことができます。

AND 株式 エーアンド・デイ

 全全上のご注意

● で使用の際は、取扱説明書をよく お読みの上、正しくお使いください。